

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について 市民説明会
日時	平成 28 年 6 月 12 日(日) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分
会場	中野市立科野小学校体育館
出席者等	・参加者 26 人 ・教育委員会出席者 8 人 教育委員長、委員長職務代理者 教育次長、学校教育係長、事務局 4 名 ・報道機関 なし
次第	1 開会 2 あいさつ 3 基本方針（案）修正案について 4 質疑 5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 北部地区小学校統合計画敷地配置図（案）、通学距離 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について市民説明会

日時 平成 28 年 6 月 12 日（日）

午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

会場 中野市立科野小学校体育館

1 開会（PM3:00）

・進行：教育次長

2 あいさつ

・教育委員長あいさつ

3 基本方針（案）について

・教育次長から資料の説明

4 質疑

意見

- 合併については大筋、賛成しているのですが、分からない点がありまして、連携教育と一貫教育の違いを教えてください。

回答

- 連携については小中連携小中連携という言い方をしていますが、今でも科野小学校と例えば倭小学校との連携で、色々な交流等やっているかと思いますが、そういった物を連携教育という形で進めさせていただいております。小中一貫につきましては、小学校中学校の九年間のカリキュラムを通したなかで教育課程や授業編成等色々なことを決めていくということで、小中学校の先生方が小中両方見る形もあったりします。小中一貫教育をやっているところもありますが、先生の負担も大きいなどのマイナス面もありますし、プラス面もあります。中野市では、まずは連携教育を推進し、将来的には小中一貫を目指します。その時期や内容はまだ白紙でございますので、デメリットメリットをよく精査しながら、ある時期が来たらやっていきたいと考えておりますが、今の段階では未定であります。

意見

- 通学路ですが、準備委員会が設置されたときに恐らくそんな話になると思うのですが、平岡小学校からの距離を数字で示していただいているのですが、例えば音高寺は 1.2 km と書いてありますが、音高寺から平岡小学校までは一本道のように見えますが、この道は歩道が無く、子どもが歩くには不適切だと思いますので、今の現段階では回り道をしなければ

いけないので、恐らく 1.2km の倍以上の距離になると思います。そういった点は、どういうタイミングで意見を出していけばいいのか。

回答

- 図の距離につきましては、今ある道を最短で行った場合で計算してあります。今おっしゃるように回り道とか通れないという条件がありますので、距離は変わってくるとおもいます。整備につきましては、今後（仮称）統合準備委員会の方で、例えば歩道を設けて欲しいなどの要望が出た時、その要望が全部飲み込めるかは別ですが、関連する市や県との協議をしながら、子ども達にとって最低限の安全・安心して通学できるような通学路の確保の整備はしていきたいと考えています。

意見

- 小中の連携は当然として、今やってる事も不十分だと思いますが、でもいろいろとやっているということは私も存じ上げております。ただ、小中一貫校をこれから検討するにあたって、今現在やっているところが、大体4年生までで一区切り、5年生から上が一区切りで、5年生から教科ごとの担任制、担当制として先生がやっているところが多いんですね。その中で子どもたちへの負担や先生たちへの負担がすごく多く出ていますので、是非、小中一貫校の是非をきちっと検討してください。

回答

- そういった意見も多く出されておりますので、先生たちの現場の声もお聞きしながら、十分検討していきたいと考えております。

意見

- 通学距離の資料の青点というのは、停留所のようなものなのでしょうか。
- もう一つはバスを運行する場合に、そのバスにうまく乗って学校に行ければいいのですが、ただ、特に低学年の子どもですが、乗れなかったケースもでてくるわけで、そういう場合のフォローの仕方というのはどんなように考えていらっしゃるのでしょうか。結局、親御さんが送っていかねばならなくなるのかなあというような事を感じるわけです。その場合に、お爺ちゃんやお婆ちゃんがいれば、何とかできるのかもしれませんが、そこら辺の基本的な考え方を聞かせてください。
- それと、基本方針の中で理解を得られれば、というお話だったのですが、理解を得る、理解をされるとはどういう状況を指しておっしゃっているのでしょうか。

回答

- スクールバスの関係ですが、これは停留所とかそういうことではなく、あくまでも目安として示しています。どのようなルートを通るのか、時間をどうするかについてですが、一便で朝何時だと苦しい部分もありますので、二便等とは考えています。距離は、一応4kmと

いう目安はありますので、学校からあまり近いところはスクールバスは考えていませんが、そうはいつでも3 kmは駄目だとかここは駄目だとか、色々な状況もありますので、その辺は話のなかで詰めさせてもらいます。パブリックコメント意見募集の中でも、スクールバスに乗せたいという保護者の方もいれば、子ども達の安全な通学路さえ確保が出来れば、なるべく歩かせたいという保護者の皆さんもいらっしゃるもので、それぞれの意見を聞くなかで検討していきたいと考えています。

- 保護者の方のご負担はなるべく少なくしよう思っていますが、朝学校に着く時間はさほど大きな違いはないかと思いますが、帰りについては、平岡小学校に統合になった場合、そこにとどまるのか、それぞれの地区、長丘、科野へ帰るのか、その辺は保護者の皆さんのご意見をお聞きしながら詰めていきたいと考えています。
- 理解が得られるという点については、例えばアンケートで賛成多数や反対などとやるわけではないので、今市民説明会で出た意見、今まで頂いた意見等を踏まえ、私共といたしましては今回の修正案では是非ご理解をいただくという事で進めさせていただきたいと望んでおります。最終的には市長、理事者を交えた総合教育会議、そして市議会議員さんの方にも図りながら決定していきたいと考えています。どういう線で誰がそれを決めるというのも賛否両論ありますが、子ども達の教育環境等考える中での修正案ですので、この案で決めて理解を得たいと考えております。最終的にこれでいきたいということお示しし、そこで意見等出た場合には、対応可能な部分に対応していきたいと考えています。

意見

- 統廃合によって、今現在使っている小学校の放課後児童クラブは、どのような位置付けになるのでしょうか。今までは各小学校のすぐそばにあったのですが、統廃合されると、一カ所に集中するのか、それとも今までみたいに各小学校の所まで送迎してもらえるのかどうか、お聞きしたいのですが。

回答

- 放課後児童クラブの関係ですが、平岡小に統合となった場合、平岡小にそのまま残って保護者がそこに迎えに行くのか、科野小学校ならそこに戻って迎えに行くのか、子育て課と協議する中で色々な意見もございます。同じ科野でもそのまま平岡に残りたい子、科野に戻ってそこに迎えに行きたい保護者の方もいらっしゃるもので、どちらにも対応できるように柔軟に対応していきたいと考えています。

意見

- 一点目は、学童保育、児童クラブというのは大事に育ててくださいということを伝えたいんです。私も科野小学校の児童クラブの立ち上げに関わりやってきましたが、私がねらいとしたのは、この地域のことをよく知り、地域の中でどっぷり浸かって育つ子どもを育てたい、それが一番の願いでありました。それが将来的には科野地区、中野市を背負っていく青年、人間に育っていくのではと考えていたんです。ですから北部地区がこんなに専業農家や豊か

な農業地帯でありながら、地域に子どもや若者が減っていくという現状を考えた時に、児童クラブを本当に大事にさせていただきたいというのが一点。

- それからもう一点、観点を別にしまして、子ども達を育てるという教育環境というのは、ある程度人数がそろふことがそれほど必要なことなのかどうかということです。地域に育ち地域の将来を担っていくような子ども、青年を育てるとしたら、この地域でどっぷりと浸かった小学校の教育位受けてもいいんじゃないかと思います。少人数でもいっぱい地域の中を巡って、自然とふれあい、地域で働いている人々の姿を知り、それから地域の人たちと一緒にあって大事な小学生の時期、12歳までの間にいろんなことを学びながら、ああ、科野の地域っていい所だな、出来れば将来的にはここへ戻ってきたい、出来れば父ちゃんやお爺ちゃんがやっているこの地域の活動を守っていききたい、自分は跡継ぎになりたい。そういう子どもが育つことが本当は一番の中野市のねらいじゃないかと思うんです。一般的に人口4万ながしのその中野市の人間を育てるのではなくて、結局は科野地区を育てる、科野地区に息づいていく後継者を育てることが一番のねらいじゃないかと思います。それは倭地区でも長丘地区でも同じです。ですから、学校の学級数の教育環境を整えるということが一体何なのかということをお私に本当に考えてしまう。人数さえそろえばいいのか、それは単なる今の受験戦争にただ追いまくられて、点数点数で子ども達が育っていくそれだけのことじゃないかなという感じがして仕方がありません。ですからできれば平岡小学校への北部地域の他の3小学校を統合するというのももう一度考慮に入れて考えなおしていただきたい。そして北部地域の小学校を維持できるような市の方針というのはないのか。この地域に子ども達が移住できるような市の政策というのは無いのか、そんなことも考えていただけたら有難いと考えています。

回答

- 少人数のメリットやデメリット色々あり、様々なご意見があります。そういった意見がある中で、教育委員会では、ある程度的人数の中で対応性人間性地域性社会性を育てるのが大事ということで考えたものであります。ただ地域愛、地域に根ざした子どもを育てる事も大事なことでございますので、統合になってもならなくても信州型コミュニティスクールの導入を平成29年度から実施する予定で検討しています。その中で地域の皆さんが集い、子ども達を育ててほしい、地域や郷土の良さ伝えてほしい、と願っています。教育委員会といたしましてもバックアップし、統合した場合でも地域の学校は大事にしながらコミュニティスクールの方で色々お手伝いさせていただきたいと考えています。少人数で何がいけないのか、人数を集める必要があるのかというご意見もございまして、意見としてお聞きしておきます。
- 市の政策の関係ですが、中野市の創生総合戦略事業の中で、中野市の人口減少率を少なくして、中野市の人口を増やす対策をたてています。市長部局の方とも連携を図りながら、子ども達が最後は故郷へ戻ってこれるような地盤づくりや政策について、ご意見をお聞かせいただきながら、市長部局と一緒に進めていければと思います。

意見

- 我々保護者としても積極的に合併してくれと大賛成しているわけではありません。できれば地域に学校があるところに人は住みたいなど、学校に近いところに住んでいこうなどと当然想像します。ただ例えば自分の子どもが来年入学するとして入学時自分の子どもだけだったとしたらどうでしょう。実際来年は科野小学校は3人です。そういう時代になってしまったのです。最終的に地域に子どもが戻ってきてほしいという思いはここにいらっしゃる皆さん全員思っていることだと思います。そのためにどうしたらいいのかなと私なりに考えましたが、子どもの時にどれだけ楽しい思い出がこっちにあるのかだと思っています。これは知っている人に聞いた話ですが、ある学校で非常に少ない人数から中学校に上がって突然5人以下の学級が30人ぐらいの学級になる。そういった時に大きな気負いを受けるそうです。全員ではないですがそのなかで不登校になってしまった、現在はどうか知りませんがそういったことも起こりうるそうです。学校に人数を集める必要があるかという事を私の意見で言わせてもらえばあると思います。それはこれから社会に出るとどうしても大勢の人と関わらなければいけないわけなので、色々多様性にふれるという事は絶対に必要なことだと思います。それが中学校統合からで間に合うのかというと私は間に合わないと思います、ある程度の人数のなかで30人ぐらいで良いという気がするのですが、私も何人が適正なのか分かりませんが、もしかしたら15人ぐらいの方が良いのかもしれませんけれど、ただ私の考えでは人数は集める必要があると思います。

意見

- もう前に戻ることはできませんので、以前アンケートなど色々させてもらった時期もあったと思います。大きな学校は関係ないですよ、小さな学校の子供達の教育環境が大事だということをもっと示して欲しかったなという思いがあります。
- 今回の説明会で理解が得られた場合この方針を進めると書いてありますが、そこでも2年3カ月、統合準備委員会を立ち上げてとなっています。もっと細分化して教育委員会から外部の方にそういうものを作ってみて、もう少し計画的にできなかったのでしょうか。今からでも良いので1年も2年でも前倒しでできなかったのでしょうか。ある程度大きく人数を集めておいてそこで小さなクラス小さな教育方針で先生方をいっぱい配置させてというのは学校ではできると思います。小さなところで2、3人しか集まらない、遊ぶところがない、上の学年下の学年みても近くにいる子どもであればいいですが、遠くから通ってくる子どもであれば、家の近くですら子どもがいないみたいなどころがありますので、そうではなくて学校に行けば友達もいる、もっと大きくすれば別のグループと友達関係ができるという事も作っていただきたいと思います。話を聞いたところは私の子どもは保育園でしたが、今のこの修正案を見れば、うちの子どもの時に小学校が統合できないのでは、絶望的な時間がたつていきますので、もう少し何とかしていただきたいと思います。

回答

- 2年3ヵ月の統合準備委員会に件は、他の地区でも意見が出ており、切羽つまっている状況なのだからもっと早く進めてほしいという意見も正直ございます。そのなかでもっと細かに詰めなければいけない部分がございますので、短くつめるかどうかにつきましては、そういう意見が保護者の皆さん地域の皆さんからたくさんお聞きすれば1年の前倒しについて対応はできるのではないかと考えています。
- 時間がかかるのはソフト的な事よりもハード面で、改修費用等は市長部局の方と調整を図っているので良いのですが、通学路の関係等は細かい調整の部分ありますので、いただいたご意見等を頭に入れながら進めていきたいと考えています。

意見

- 基本的には合併には賛成です。2年先延ばしという事を聞いた時に何でと感じました。実際来年自分の娘が科野小に上がるのですが、3人のなかの1人であり、自分は他の地区で幼少期を過ごした者ですが、他の学年のお友達がいっぱいいるにしても、1学年3人というのはとても考えられないので、少しでも早い合併をと望んでいたのですが、今の説明を聞く限りではこの案で納得して下さいとしか聞こえなくて、一部新聞の記事を見ますと、2年先延ばしではなく1年先延ばしも可能かみたいな記事を見ると、2年先延ばしになったからといっても1年先延ばしだけでもできるのではないかと期待をしてしまいます。子どもの立場に立って合併への準備を本当に考えてくれているのかというのが一番疑問で、実際通学するのは子ども達であり、親ではなく子ども達が自分の足で稼働する現実をしっかりと考えいってほしいと思います。

回答

- 今新聞記事の話も出ましたが、今回の説明会では、統合までに北部は2年3ヵ月、豊田地域は3年3ヵ月ですが、そんなに待てないという意見もございますので、今も意見として出ましたので柔軟に対応できるように前倒しの件につきましても検討していきたいと考えています。

意見

- 今現実にお子さんを抱えていらっしゃるお母さんたちの声は、切実な問題として受け止めました。確かにその気持ちは分かります。私が考えるのに、小中の連携教育ではなくて北部地区の連携教育と企画をもっと多くすれば良いと思います、スクールバスをそのために1台くらい入れて色々な機会があるごとに北部の4地区の学校が集まって一緒に行動学ぶ機会を多くしていく、だけど科野小は科野小として大事にしていく、そういったやり方でも良いのではないか思うのです。
- もう一点は地域のなかで高学年や低学年の子ども達と触れ合って一緒に学びあったり自然を学んだり地域を学んだりするには学童保育というのを見直さなくてはいけないと思うのです。ここ十年以上前から中野市に学童保育をしっかりと考えてくれと、指導者の学習研修を積んで本気になって学童保育に考えて取り入れて欲しいという事を伝えてきたはずですが、いまだに科野小に学童保育の建物が期限切れになったプレハブしかありません、学童保育とい

うのは地域の子ども達を育てる大事な場として考えてしっかりと方針を持って大きい子小さい子達の連携をふまえて一緒にそのなかで育つ子ども達という点で考えても良いのではないかと思います。

- もうひとつは四校の連携できる教育方針というのを考えていったらどうでしょうか。

回答

- 連携については、今でも北部地区の中で、科野小と倭小の交流とか4小学校の校外活動交流等、市のバスを借りてやってはおりますが、今後も更に連携は進めていきたいと考えています。学童保育につきましては直接的な担当ではありませんが、必要なことは関係部署の方にお伝えしておきます。

意見

- 先程から何度か話が出ておりますが市民説明会で理解を得られた場合とは個人的にはニュアンスが難しい部分だと思っております、今までの経過から言うと、理解を得られるように説明会を繰り返して意見交換等していると思うのですが、どうなると理解が得られない状態になるのかとか今の時点で数字的なものは別といたしましても、このやり取りについて理解している人達がどのくらいの割合がいて、そうでない人がどのくらいいるのかはこちらには分からない部分があまりにも多すぎます。2年後の開校31年度と書いてありますが、行政の段取りのなかで出た数字だと思うのですが、理解が得られたらというタイミングに足並みを揃えられてしまのではないかと感じられて、どのタイミングでどうなると理解が得られてことになって、どうならないと理解が得られないことになるのか、ある程度方向を示していただかないと賛成するにしても反対するにしても体力勝負みたいになってしまうので、今後数年と目に見えているわけなので言葉なり行動で示していただきたい。

回答

- 理解が得られるとはどんな時かとは、抽象的になってるわけですが集まった皆さんの多数決をとるというわけにはいきませんので、私共はこの基本方針案で皆さんにご理解いただきたいという気持ちはございます。この説明会やパブリックコメントで意見等も出てくると思いますが、説明をつくして皆さんに分かっていただければと思っております。最終的な決断になりますと市長部局になります。市民の代表であります議会の皆様にもお認めいただかないと先に進まないというのがございますが、100%賛成100%反対ということはありませんで、説明するなかで見極めていけばと思っておりますのが実際のところでございます。
- 理解の割合ですが、市民説明会の他、パブリックコメントでもご意見が結構寄せられております。そのなかでも賛否両論ございます。私共といたしましてはこれで理解をいただきたいという事で進めたいと思っておりますが、強引に一方的にやるわけにはいきませんので、皆様方のご意見はできるだけお聞きしますが、今は一早く統合することがベストであると考えています。

意見

- 前回の説明会は去年の夏に実施され、その後保護者にむけた懇談会を開催されました。今回は修正案に対する市民説明会という形でやられているわけですが、御存じのとおり前回参加者が50人ぐらいおられたのが、保護者懇談会がどれぐらいおられたのか分かりませんがきょうは30人弱という状況でそれがほんとに良いのかどうか、提案なのですが科野地区の区長会、そういうところに対して出かけて行って説明するとかそういうケースはなかったのでしょうか。なかったとすればそういうケースも考えながら各地区ごとに協議委員会とかおられますので、報告やご意見を集める機会ももっとあるのではないかと感じています。

回答

- 地区ごとに説明会を開く予定はございません。ただ、例えば科野地区の区長会で区長さん方地域の皆さんが懇談を設けてもらいたいとなれば内容によっては対応に応じますが、今の段階でこちらから区長会を通して地区ごとの説明会は考えておりません。今までも区長会地区ごとの説明会をしてほしいという事もございません。要望で賛成や反対があったとかを地区でお持ちいただく区長さん方はおられますが、地区ごとの説明会は今までもした事がございません。

5 閉会 (PM4:00)